

FUJIFILM

ズーム・フォーカス駆動の電動ドライブユニットを着脱できる、好評のシネマカメラ用レンズの第3弾

「FUJINON ZK2.5×14」

焦点距離 14 mmから 35 mmまでをカバーした広角ズームレンズ

● 新発売 ●

平成 25 年 9 月 10 日

富士フイルム株式会社(社長:中嶋 成博)は、着脱可能な電動ドライブユニットを搭載したシネマカメラ用レンズの第3弾として、焦点距離 14mm から 35mm までをカバーした広角ズームレンズ「FUJINON ZK2.5×14」(以下「ZK2.5×14」)を、9月下旬より発売いたします。「ZK2.5×14」は、シネマカメラで最も普及している 35mmPL マウント^{※1}を採用した高性能ポータブルレンズで、高い光学性能とわずか 2.9 kg^{※2}の小型・軽量ボディを両立し、様々な撮影シーンでの多彩な映像表現を実現します。

テレビの制作現場では、4K^{※3}カメラを用いた映像コンテンツの高画質化が始まっており、高い光学性能をもつシネマカメラ用レンズが注目を集めています。しかし、シネマカメラ用レンズはテレビカメラ用レンズと撮影方法が異なるため、テレビの制作現場でシネマカメラ用レンズをスムーズに運用することが難しい、という課題があります。

富士フイルムは、ズームやフォーカスを電動で駆動させるドライブユニットを一体化し、しかも着脱できるようにした、新発想のシネマカメラ用レンズ「ZK シリーズ」として、平成 24 年 8 月に「FUJINON ZK4.7×19」(以下「ZK4.7×19」)、同年 11 月に望遠タイプの「FUJINON ZK3.5×85」(以下「ZK3.5×85」)を発売しました。

「ZK シリーズ」は、着脱可能な電動ドライブユニットを搭載したことによって、ドライブユニットによる操作が一般的なポータブルタイプのテレビカメラ用レンズと同等の操作感を実現しており、映画のみならず、テレビの制作現場で利用されるシネマカメラでの使用にも最適です。従来のテレビカメラ用レンズと同じ操作感で、シネマカメラ用レンズ特有の、浅い被写界深度によるボケ味の良さを活かした高画質な映像表現が可能です。

また、シリーズ全機種において、電動ドライブユニットを取り外して手動でも操作することが可能です。小型軽量のため持ち運びに便利で、ズームやフォーカスを手動で動かすことが多い映画制作の現場でも、これまでのシネマカメラ用レンズと同じ操作感で撮影が可能です。

今回の「ZK2.5×14」の発売で、「ZK シリーズ」に広角・標準・望遠とズームレンズのラインアップが揃います。「ZK2.5×14」は、フィルム・デジタル双方のシネマカメラに対応した、焦点距離 14mm から 35mm までをカバーする広角ズームレンズです。最先端の光学シミュレーション技術を駆使し、高精度な大口径非球面レンズを採用したレンズ設計とすることで、高い光学性能と 2.9kg の小型・軽量ボディを両立しました。また、映像のひずみを抑制しながら、レンズ中心部から周辺部まで高い解像力を実現しているため、映画館の大きなスクリーンに上映しても画面周辺部まで高画質な映像を制作することができます。さらに、被写体に 33 cm^{※4}まで接近して撮影できる「マクロ機能」も搭載。1本でカバーする撮影シーンが拡大します。

富士フイルムが提供するシネマカメラ用フジノンレンズは、高い描写力が評価され、今年世界的な大ヒットとなった「Oblivion(オブリビオン)」の制作で採用されるなど、最新の映像表現の進化に貢献しています。今後も、富士フイルムは、長年培ってきた光学技術や精密加工・組立技術などを駆使して、画期的な新製品を開発・提供し、多様化する制作現場のニーズに応えていきます。

尚、平成 25 年 9 月 13 日～17 日にアムステルダムで開催される放送機器展示会「IBC2013」で本製品を出展いたします。

※1 シネマカメラの世界最大手ドイツアーノルド&リヒター社の 16mm/35mm シネマカメラ向けのレンズマウント。

※2 レンズとドライブユニットを一体化した時の質量。

※3 フルハイビジョンの 4 倍の画素数を持つ映像規格。

※4 センサーから被写体までの距離。



記

1. 品名 : シネマカメラ用レンズ「FUJINON ZK2.5×14」

2. 発売日 : 平成 25 年 9 月下旬

3. 標準ユーザー渡し価格 : オープン

4. 主な特長 :

(1) 高い光学性能と小型・軽量ボディを両立

- ・最先端の光学シミュレーション技術を駆使し、高精度な大口径非球面レンズを採用したレンズ設計とすることで、高い光学性能を実現。さらに、レンズとドライブユニットを一体化しながらも、わずか 2.9kg の小型・軽量ボディを実現した、ポータブルタイプのシネマカメラ用レンズです。
 - ・映像のひずみを抑制しながら、レンズ中心部から周辺部まで高い解像力を実現。映画館の大きなスクリーンに上映しても画面周辺部まで高画質な映像を制作することができます。
 - ・テレビカメラ用レンズで採用している「フランジバック^{※5} 調整機構」を搭載。カメラとレンズをベストマッチングさせ、レンズの光学性能をフルに引き出します。
 - ・9枚羽根採用により、円形に近い絞リ形状を実現。より自然なボケ味を生かした映像表現が可能です。
- ※5 レンズの取付基準面(フランジ)からセンサーまでの距離。

(2) 広角の焦点距離 14mm から 35mm までをカバー

- ・「ZK2.5×14」は、焦点距離 14mm から 35mm までカバーする広角ズームレンズです。「ZK4.7×19」や「ZK3.5×85」とあわせ、「ZK シリーズ」として幅広い撮影シーンに対応します。
- ・被写体に 33cm まで接近して撮影できる「マクロ機能」を搭載。1本でカバーする撮影シーンを拡大します。

(3) 着脱可能な電動ドライブユニットを採用

- ・ズームやフォーカスを電動で駆動させるドライブユニットに着脱方式を採用。ドライブユニットによる操作が一般的なポータブルタイプのテレビカメラ用レンズと同等の操作感を実現しており、映画のみならず、テレビの制作現場で利用されるシネマカメラでの使用にも最適です。
- ・シネマカメラ用レンズ特有の、浅い被写界深度によるボケ味の良さを生かした映像を、CM やドラマの制作現場でも撮影いただけます。

(4) レンズデータを高分解能で出力する「ロータリーエンコーダ」を搭載

- ・ズームやフォーカス位置情報などのレンズデータを高分解能で出力できる「ロータリーエンコーダ」をドライブユニットに標準搭載。

(5) ユニバーサルデザインを採用

- ・フォーカス、ズーム、アイリス(絞リ)の操作リングには、視認性に優れたオリジナルフォントで、撮影距離、焦点距離、T-No.を表記したユニバーサルデザインを採用。現場での快適な操作性を実現します。

5. 主な仕様 :

型名	ZK2.5×14	
カメラ仕様	35mmPL Mount Camera	
焦点距離	14~35 mm	
ズーム比	2.5 x	
T-No.	2.9	
最至近撮影距離(M.O.D)	0.6m	
被写体範囲 (M.O.D 時)[水平×垂直]	14 mm	701 x 394 mm
	35 mm	275 x 155 mm
画角[水平×垂直]	14 mm	88° 52' x 57° 45'
16:9 アスペクト比 ※6	35 mm	42° 49' x 24° 53'
サイズ	φ 114mm x 231mm	
質量	約 2.9 kg(駆動部付)/約 2.4 kg(駆動部なし)	

※6 センサーサイズ : 27.45 × 15.44mm

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

(報道関係) コーポレートコミュニケーション部

TEL 03-6271-2000

(お客様) 光学・電子映像事業部 営業部

TEL 048-668-2143

富士フイルム ウェブサイト

<http://fujifilm.jp/>